

管内における雇用環境や人材確保 の状況等について (市村)

【鹿児島所管内】

1 鹿児島市の現状と取組等

資料2-1

2 三島村・十島村の現状と取組等

資料2-1

【伊集院所管内】

3 日置市の取組等

資料2-2

4 いちき串木野市の取組等

資料2-3

令和4年6月2日
鹿児島地域人財確保・育成推進協議会

鹿児島市

現状	意見, 課題等
<p>【市内企業の就業環境】 ・インターン等の取組はあるが、市内企業の効果実感はそれほど高くない。 ・多様な働き方への対応、女性活躍・男女共同参画の取組はあまり進んでいない。</p> <p>【市内企業への就職動向】 ・地元志向の高まり、企業等との接点・企業等の情報提供などが求められる。</p>	<p>【市内就業環境の魅力創出と効果的な伝達】 ・市民・縁のあるひとが鹿児島市内で「働きたい・働き続けたい」と感じ、その思いが満たされる環境を整備する。 ⇒魅力ある就業環境と担い手の確保、かごしま経済を担う多彩な人材の活躍推進</p>

三島村

現状	意見, 課題等
特になし	特になし

十島村

現状	意見, 課題等
<p>以前より、民間企業の参入がない地域であることから新卒者の就業は見込めません</p> <p>村の看護師、保育士、及び介護職は、経験者を対象に募集していますが、応募者が不足している状況が続いています。</p> <p>一次産業では、地域おこし協力隊のほか、新規に就業を希望するI Uターン者向けに、育成を支援していますが、申込者数は低調で、地域おこし協力隊の任期、又は新規就業者支援の期間を終えた者の定着率は低い状況にあります。</p> <p>また、本土に居住する定期船の乗組員についても、応募者が無い状況が続いています。</p>	<p>民間のアパート等はないことから、村で住宅を建設しなければなりません。</p> <p>多額の費用を要するため、一年に建設できる住宅は限られます。</p> <p>求人に対して、応募者が少ないため、新聞等を活用していますが、問い合わせも少ない。</p> <p>一次産業では、生産過程から流通において、条件が不利な点（輸送時間、コスト、耕作面積）が多く、特に耕種農業等においては、育成する体制の充実を図る必要がある。</p>

人材確保のための各種施策

資 料

鹿児島市産業局産業振興部雇用推進課

① かごしまで働きたい若者応援会議運営事業

ア. 事業目的

18歳人口をはじめとする若者の流出抑制に向け、地元定着やUターンを図るための地元産業及び企業等の魅力発信や職業教育における地域貢献の意識醸成等への取組の推進について、産学官が連携して検討を進める。

イ. 構成団体

・ 産業界	県経営者協会ほか	8 団体
・ 教育界	鹿児島大学キャリア形成支援センターほか	5 団体
・ 行政	鹿児島労働局ほか	6 団体

② 若年者就職サポート事業

ア. 若者の地元就職促進等に向けた訪問要請

市職員が、経済団体等を直接訪問し、地元就職促進等に向けた要請を行う。

イ. 高校生ステップアップセミナーの開催

就職を控えた市内の高校3年生を対象に、勤労観や職業観の醸成を図るため、ハローワーク職員による最近の雇用情勢等の講話、就職活動の心構えと面接の研修、高校生を採用予定の地元企業の人事担当者による企業側が求める人材等に関する講話を実施する。

年度	参加高校数	参加者数
R元	10校	687人
R2	5校	401人
R3	8校	594人

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、参加人数の多い5校へ訪問し、面接の研修のみ実施。

ウ. 新就職者激励大会の開催

市内の事業所に就職する新規学卒者等を対象に、職場定着の意識の醸成を図るため、鹿児島公共職業安定所、鹿児島商工会議所等の経済団体と共に、社会人としての門出を激励するとともに、ビジネスマナーの研修等を実施する。

年度	参加事業所数	参加者数
H30	61事業所	172人
R2	48事業所	152人
R3	42事業所	137人

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、元年度は開催中止。

エ. ワカモノ×カゴシマシ魅力再発見事業

若者の地元定着のため、就職活動を控えた大学生に向けた出前授業を実施し、鹿児島市を生活や就労場所の候補として印象付ける。

〔開催場所〕 鹿児島国際大学

〔開催日〕 令和4年7月8日（予定）

〔対象者〕 鹿児島国際大学2年生

③ 連携中枢都市圏合同企業説明会開催事業

連携中枢都市圏を形成する4市（鹿児島市、日置市、いちき串木野市、始良市）で合同企業説明会を開催し、圏域全体で人材の確保や雇用機会の拡大を図る。

年度	時期	場所	参加事業所数	参加者数
R元	1月13日（月・祝）	かごしま県民交流センター	42社	163人
R2	1月11日（月・祝）	かごしま県民交流センター	63社	122人
R3	1月10日（月・祝）	かごしま県民交流センター	65社	118人

④ 若者就職応援フェア「みらいワーク“かごしま”」開催事業

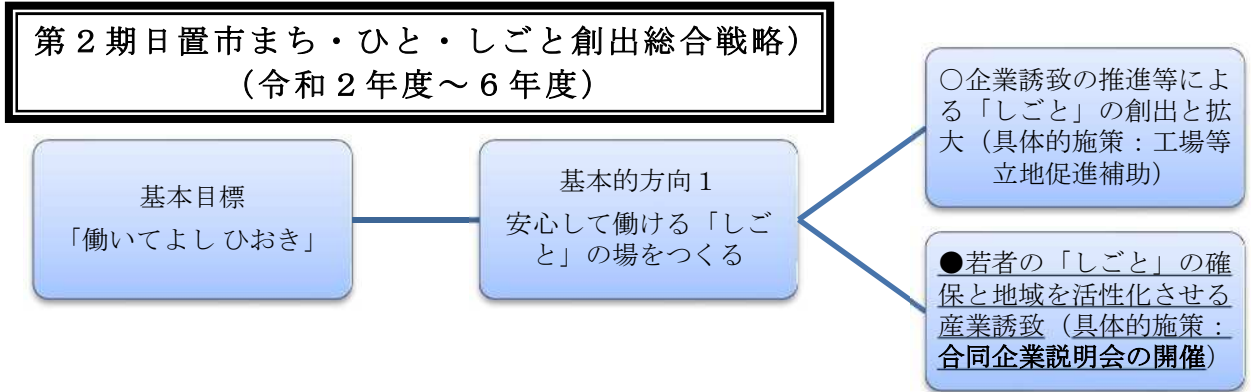
若者の市外流出抑制に向け、地元企業に対する理解促進等を図るため、地元の企業等が一堂に会し、中学生をはじめとする若い世代への企業等の魅力発信や情報提供を労働局や県と連携して行う。

年度	時期	場所	参加者数
R元	12月15日（日）	かごしま県民交流センター	564人
R2	11月1日（日）	かごしま県民交流センター	610人
R3	12月12日（日）	かごしま県民交流センター	942人

⑤ 移住・就業等支援事業

UIJターンによる起業・就業者の創出を図るため、東京23区の在住者または23区への通勤者が、鹿児島市内に移住し、中小企業等に就業または起業した場合、または本人の意思により鹿児島市内に移住し、テレワークを実施している場合に移住支援金を支給する。18歳未満の世帯員を帯同して移住する場合は18歳未満の者1人につき最大30万円を加算する。

年度	申請件数	交付決定件数
R2	8件	8件
R3	21件	21件



(具体的な施策)

① 連携中枢都市圏 4 市合同企業セミナー (1 月成人の日開催)

- 対象者：日置市、鹿児島市、始良市、いちき串木野市で就職希望の方 (新卒者・新卒以外は問わない)
- 会場：県民交流センター
- 参加者：118名 (新卒21名、新卒以外97名) ※日置市居住者15名

② しごと発見！高校生のための合同企業セミナー (2 月下旬開催)

- 対象：日置市内に住む又は通学する高等学校 2 年生 (保護者)
- 会場：日置市伊集院総合体育館 (R2)
- 参加者：高校生 223名 (吹上95名、城西 127名、鹿児島工業 1名)

※令和 3 年度は新型コロナ「まん延防止等重点措置」により中止

2 日置市異業種交流懇話会 (33会員) 地元企業28、金融機関 4、日置市

- (1) 設立日：平成17年11月 (日置市合併の年)
- (2) 目的：日置市内で活動する異業種企業間の交流を進め、それぞれが抱える課題の解決を図りながら、新たな産業の創出や新たな商品開発に取り組み、地域における就業機会の増大を促進し、日置市全体の活性化を図る。

(主な活動)

① 企業の魅力ある説明会 (6 月末に開催⇔7 月以降就職活動開始)

1. 目的：地元企業の就職環境は担い手不足や県外流出で厳しい状況の中にあって、地元企業と県内高校 (進路指導担当) との情報交流をはじめ、今後の就職活動におけるさらなる促進強化を図る。
2. 参加校：15校 (うち地元 2 校)

② 日置市異業種交流懇話会と吹上高校との交流会 (工場見学)

1. 開催時期：1 月下旬 (2 日間) ※令和 2 年度：第14回
2. 対象：1 年生及び 2 年生の全生徒 (工場見学は 2 年生のみ)
3. 交流会 (1 日目) 吹上高校体育館
☆ 卒業生からのメッセージ (会員企業就職者)、講話 (会員企業代表)、参加会員企業からの会社概要説明、意見交換会
4. 工場見学 (2 日目) 会員企業視察 (科別：1 科 3 企業)

※令和 3 年度は新型コロナ「まん延防止等重点措置」により両日とも中止

いちき串木野市 (人材確保のための各種施策)

1. 雇用対策事業

① セミナー等の開催

(1) 高校生のための合同企業説明会

市内高校等(串木野高校、市来農芸高校、神村学園高等部・専修学校)の生徒(1・2年生)を対象とした市内企業の企業説明会を実施し、市内企業の人材確保を図る。

※平成28年度より実施(5回)。これまで10社21名の採用あり。

令和3年度はコロナの影響により中止。

(参加生徒数)

単位:人

区 分	R2	R1	H30	H29	H28
串木野高校	81	69	82	37	39
市来農芸高校	—	—	—	—	13
神村学園高等部	—	—	—	—	—
神村学園専修学校	—	24	—	—	—
合 計	81	93	82	37	52

(参加企業数)

単位:社

	R2	R1	H30	H29	H28
参加企業数	12	12	12	7	15

(2) 女性のための就労支援セミナー

市内在住または市内事業所で働く女性を対象とし、女性の再就職や職場環境づくり、キャリアアップをテーマとしたセミナーを開催し、女性の就労支援を図る。

区分	テーマ	参加者数
R3	女性のキャリアデザインセミナー	1人※
R2	働く女性のストレス対処オンラインセミナー	9人
R1	女性の再就職応援セミナー	10人
H30	私の再就職セミナー	7人
	ワーク・ライフ・バランスセミナー	12人
	働く女性を応援します～女性の学び舎～	7人
H29	女性のための再就職応援セミナー	11人

※令和3年度はコロナの影響により参加者の減少あり

(3)連携中枢都市圏合同企業説明会

連携中枢都市圏を形成する4市(鹿児島市、日置市、始良市、いちき串木野市)で合同企業説明会を開催し、企業の人材の確保や雇用機会の拡大を図る。

(参加企業数等)

年度	市内参加企業数	面談数	市内事業所内定者数
R3	7社	20名	1人
R2	7社	33名	2人
R1	6社	44名	—
H30	6社	—	4人
H29	6社	—	3人

2. 市立ハローワーク設置推進事業

本市の主力産業である製造業をはじめ、他産業においても人口減少や少子高齢化が進むことによる労働力不足に伴う生産性の低下など、地域の活力の低下が懸念されている。

本市において、令和2年4月に「市立ハローワーク(無料職業相談所)」を設置し、地元企業への求職者の就職促進及び人手不足の対策を図っている。

また、令和2年1月に高齢者の雇用促進等を目的とした「市生涯現役促進協議会」を設立し、令和2年5月より構成労働省委託事業「生涯現役促進地域連携事業」を実施している。

(ハローワーク実績)

区分	求人件数	求人数	求職者数	採用者数	利用件数
R3					
R2	402件	675人	293人	136人	3,419人

●今後の課題等について

人材確保・育成推進においては、これまで市の各種労働行政事業の実施、また令和2年度に設置した「市立ハローワーク」「市生涯現役促進協議会」による事業実施を行っているが、本市の主力産業の製造業をはじめ、医療・福祉、建設業など、市内事業所の人手不足の解消・人材確保までは至っていない。

今後は「市立ハローワーク」を中心に地域の実情にあった雇用の支援に取り組み、関係機関との連携を図り雇用対策・人材の確保を推進していきたい。